

2025 年度 寒地土木研究所一般公開開催報告

国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒冷沿岸域チーム 水産土木チーム

2025年度寒地土木研究所の一般公開を7月4日(金)・5日(土)の2日間に亘り開催しました。寒地土木研究所では、研究所役割や研究成果をわかりやすく紹介するため、「国土交通 Day」の一環として、施設の一般公開を実施しています。例年、試験研究所機関や企業、国や自治体などの行政関係者はもとより、日頃、土木技術の研究に接する機会のない、一般の方々、ご家族連れの方々、幼稚園や小学校の団体様にも多数ご来場いただき、研究の一端をご覧いただいております。

今年度は、「未来へつなぐ、寒地のひみつを大発見!」をテーマに15の研究チームが工夫を凝らした研究内容の紹介により、子供たちだけでなく大人の皆様にも、それぞれのコーナーで実験・体験・発見を楽しんでいただき、延べ1,255名にご来場いただきました。

寒冷沿岸域チーム、水産土木チームは「ヒトも生き物も守る港づくり」というテーマで、共同展示を行い両チームともに大盛況でした。

寒冷沿岸域チームでは、動画にて、大型平面水槽内での造波実験と、氷の構造物への衝突の様子を再現した実験に加えて、過去40年間のオホーツク海における

波浪の変化を再現した数値シミュレーションを紹介しました。また、アクリルの造波水槽を使い、自分の手で津波を起こしてその発生や伝わり方を観察できるコーナー、流氷に触れる体験コーナー、防波堤で使われるブロックの展示および氷の結晶模型の組み立てコーナーを設けました。

水産土木チームでは、AIにより水中動画から海藻を自動判別している映像や、稚ナマコの好適な生息環境として民間と共同開発した「ナマコのゆりかご」を展示したほか、説明用パネルによる藻場の解説や潜水士による海中の様子を撮影した映像の上映を行いました。

来場者の方々は展示物を興味深くご覧になっており、研究内容について理解を深めていただけました。

今年も多くの方にご来場いただき、誠にありがとうございました。来年も皆様のご来場をお待ちしております。

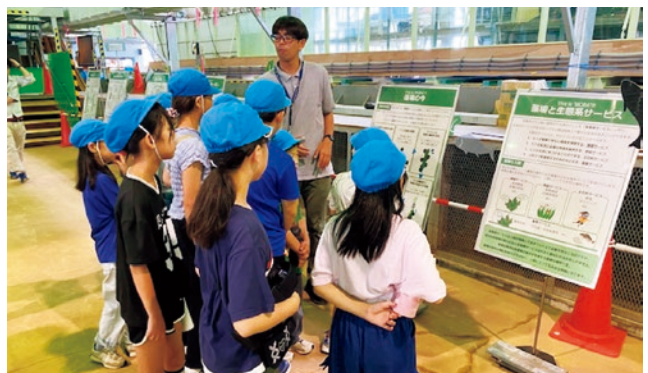
また、技術相談についても随時受け付けております。

どうぞお気軽にご相談下さい。

(文責：水産土木チーム 田村)



地元幼稚園のふれあい体験(寒冷沿岸域チーム)



地元小学生への説明(水産土木チーム)



寒冷沿岸域チーム・水産土木チームの展示状況